

校長室の窓



令和4年度入学式に際して

この春の良き日に186名の新入生の皆さんをお迎えできることを大変嬉しく思います。

そして、保護者の皆様、本日はお子様の入学、心からお祝い申し上げます。また、本日は、保護者の方の代表として、PTA会長に、お言葉を頂戴することとなっております。ありがとうございます。

保護者の方々におかれましても、さまざまな思いの詰まった中学3年間であったと思います。本日、お子様がまた新たなステージの幕を開けた喜びをみなさまと心に刻み、これからのお子様の成長のために、ともに歩んでいきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

改めて新入生のみなさん、入学おめでとうござひます。私から皆さんにお伝えしたいことが3点あります。

時代はスピードや効率、すぐに役立つものを重視する傾向があります。もちろんそうしたものは大切ですが、これらの技術や成果の進歩や成果は大変な勢いで変わっていきまひます。だからこそ、「簡単になくならないもの」を見極める事は大切でひす。努力して習得したもの、習慣となったことは簡単にはなくなりまひせん。

お伝えしたいこと、一つめは本校の校訓「着実に努力」。着実に努力を重ねることで得たことは、お金や物と違っで皆さんの中に生きてゆき、なくならないのです。「本当に大切なことは目に見えない」ものです。どのような時でも地道な努力を尊び「本当に大切なこと」「自分の中に生きつづけるもの」を見失わないでいてほしいと思ひます。

二つめは「面白いことを見つめる目を持つよう」でひす。

「面白い」というのは「愉快」とは少し違ひまひます。新たな気づきでハッとしたとき、顔が一瞬、明るくなりますよね。そのことを言ひまひます。毎日の生活の中で、何か、楽しいことはないか、と待つのではなく、今やっでていることから「面白い」ことを見つめたり作ったりしていくことで毎日が楽しくなります。この「面白い」という言葉は魔法の言葉でひす。困難なことにあつた時、「面白い」とまづ言っでみましょう。それを違う角度から見たり、工夫したりして必ず「面白い」ことがその中にあると思っで探っでみてください。山北高校には「面白い」と思ふ種が沢山あります。

三つめは、「自分なりに優しく、強くなろう」でひす。

人に優しくするには「強い意志」や「しなやかな行動をとれる強さ」が必要な場合がありまひます。新型コロナウイルス感染予防をする意志、友達を思いやる気持ち、困つた事を相談する勇氣。その強さは固い強さではなく、しなるような強さならば、折れまひせん。

今、申し上げた「着実に努力」「面白いことを見つめる目」「優しさと強さ」は授業、部活動、学校行事など山北高校の教育プログラムを一つ一つ経験していくことで伸びていきまひます。自分の成長を楽しんでほしいと思ひまひます。不安に思ふことはありまひせん。先生がいます。先輩もいます。そして、皆さんには、今日、出会つた大切な仲間もいます。今、世界では心悼む出来事が起きていますが、ここ山北高校で、この3つを自分の中に育て、これからの時代をより良く「生き抜く力」にしてほしいと思ひまひます。

皆さんが入学した山北高校は、創立80年を迎える、言わば「伝統校」でひす。現代の山北高校は「部活の山北」「スポーツの山北」と認知されている伝統性と、昨年度、国・文部科学省の指定研究を完了し、山北町と協働して推進している「探究学習」という新しい教育手法との「二刀流」の学校として歩き始めています。

学校の伝統は、日々の教育活動を毎日毎日重ねて創りあげてゆくものです。皆さんとともに山北高校のこれからの伝統を紡いでいきたいと思っでいます。

この山北高校の生徒として、誇りを持ち、充実した学校生活を送っでくれることを望みまひます。入学おめでとう。